

皆生トライアスロン事故発見時の対応フロー(バイク、マラソン)

1. 選手に接触し状況把握

◆ 軽度の場合

- ・ケガをしているが意識が明瞭
- ・レースの継続ができない
- ・熱中症でレース継続が困難と思われる
- ・個人の判断では対応がわからない など

大会の審判部へ連絡

080-1256-3012

[連絡内容]

- ①事故発生場所
- ②事故状況
- ③負傷者の状況 レースナンバーや状態など

審判部

審判部より、大会本部及び各関係部に報告

◆ 重篤の場合

- ・ケガ/大量出血をしている
- ・意識がない 等

2. 119番通報

消防

[通報内容]

- ①**事故発生場所**の確認 (例)バイクポイント〇〇番の100m米子側です。
- ②**事故状況**の確認 (例)選手が自転車で転倒し、足を怪我しています。
(例)選手がマラソン中、歩道で倒れ意識がありません。
- ③**負傷者の状況**確認 (例)レースナンバー〇〇番の男性で、会話はできます。
出血はありません。

3. 審判部に連絡

080-1256-3012

審判部

審判部は、周囲の安全確保後、
バイク事故の場合は100m手
前に発煙筒をセット

皆生トライアスロン事故発見時の対応フロー(スイム)

1. 事故発生(要救助者発見)

無線およびホイッスルでポイントを指示後、
RWC(水上バイク)と審判本部へ状況報告

- 監視・救助班
- ライフセーバー
 - カヌー
 - 監視船
 - 陸上監視員

審判部

2. 救助・收容

◆ 軽度の場合
・一般、リタイア

回収船またはスタート地点か
折り返し地点へ搬送

通常のDNF(リタイア)処理

◆ 重篤の場合
・溺水などの事故

3. 審判部より **119番通報**
⇒收容場所を的確に指示し、伝えること。

(例)スタート地点、折り返し地点、1番湾・2番湾……

消防

4. 審判部より大会本部へ報告

大会本部

状況により大会本部、警察、海上保安庁、
関係諸機関の連携にて対応